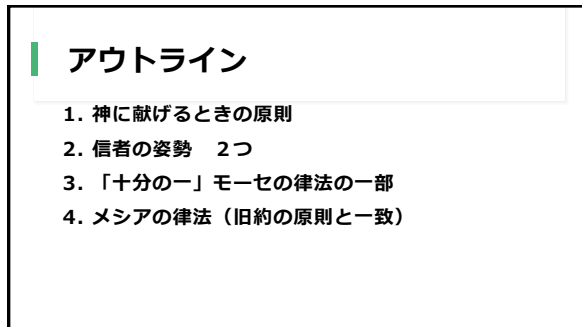
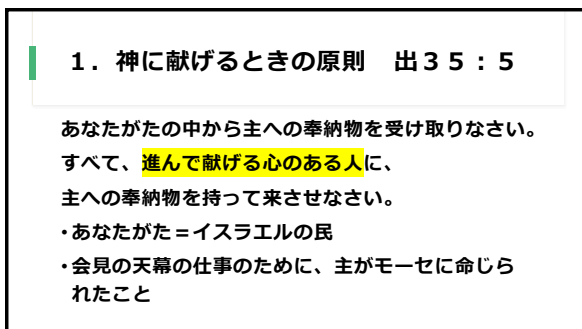


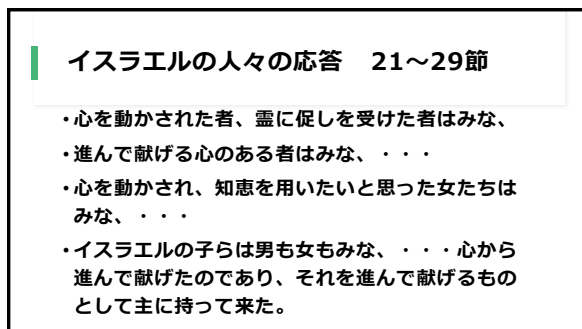
1



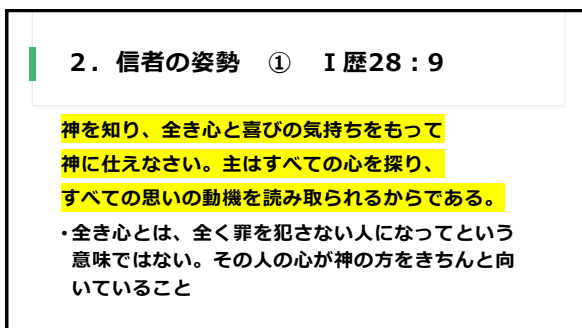
2



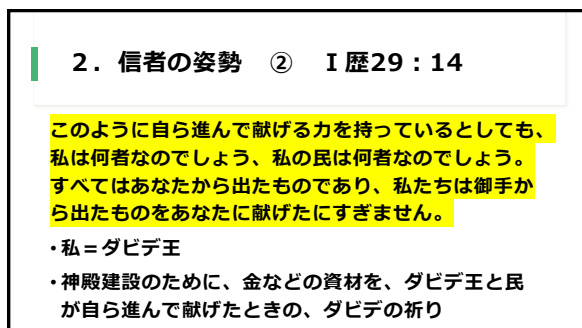
3



4



5



6

3. 「十分の一」 モーセの律法の一部

あなたは毎年、種を蒔いて畑から得る**すべての収穫の十分の一**を、必ず献げなければならない。

主が御名を住まわせるために選ばれる場所、あなたの神、主の前で、あなたの穀物、新しいぶどう酒、**油の十分の一**、そして牛や羊の初子を食べなさい。

(申14：22～23)

- 食べきれない→倉へ納め、レビ人・神殿維持

7

「十分の一」の仕方 申12章・14章

主が御名を住まわせるために選ばれる場所へ行き、**あなたの神、主の前で食べ、(エルサレムの神殿)**

- あなたの家族とともに喜び楽しみなさい。
- あなたの男奴隷、女奴隷もともに
- あなたの町囲みの中にいる**レビ人も**ともに

8

「十分の一」の目的 申14章

- いつまでも、**あなたの神、主を恐れることを学ぶ**ため
- **三年ごとに**、その年の収穫の十分の一を町に寄付。レビ人、寄留者、孤児、やもめの支援にあてる。それは、**主が寄付者のすべての手のわざを祝福し**てくださるため

9

マラキ3：10の命令

十分の一をことごとく、**宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ**。こうしてわたしを試してみよ。わたしがあなたがたのために天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうか。

- **ネヘミヤ13：10～11** **レビ人の分が支給されていなかった**ために、務めに当たる**レビ人が**、自分の農地に逃げ去り、神殿が見捨てられていた。

10

「十分の一」まとめ

- 「十分の一」は**神殿とレビ人の存在が前提**
- **モーセの律法は、十字架によって終了**



「十分の一」は**私たちには適用されない**

11

4. メシアの律法 (旧約の原則と一致)

- ① 人に見せるものではない (マタイ6：3)
- ② 喜んで、自ら進んで (Ⅱコリ8：2～3)
- ③ まず自分自身を献げる (Ⅱコリ8：5)
- ④ 恵みのわざ (Ⅱコリ8：6)
- ⑤ 自分の心で決めたとおりに (Ⅱコリ9：7)
6節に「豊かに蒔く者は豊かに刈り入れる」

12

豊かに蒔く者は豊かに刈り入れる

豊かに蒔く = 喜んで献げる

- ・一人ひとり、
- ・いやいやながらでなく、
- ・強いられてでもなく、
- ・心で決めたとおりにする。

(Ⅱコリ9 : 7)

13

豊かに蒔く者は豊かに刈り入れる

豊かに刈り入れる = 神に愛される

- ・あふれる恵みをあふれるばかりに与えられる。
- ・信者が、いつもすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれるようになるため

(Ⅱコリ9 : 7~8)

14